

学習形態の工夫

個人で考えさせる時間と、ペアやトリオ、グループで話し合わせる時間をねらいに応じて意図的に設定（共有）する

1年生 国語科「おおきなかぶ」「くじらぐも」（文学的文章）

「くちばし」「うみのかくれんぼ」（説明的文章）

1年生の国語科における読みの学習では、まず自分の考えをノートに書き、その後、ペアで交流する時間を設定した。

交流により、個人の考えを深めたり、広げたりすることができると考えた。



5年生 国語科「たずねびと」（文学的文章）



5年生の国語科「たずねびと」では、まず自分の考えをノートに書き、それを基にクラスの友達と交流した。

自分の考えをもたせ、その後に交流する時間を取ることで自分の考えを深めたり、再構築したりするための手立てとなると考えた。

児童の実態や学習に応じた対話の時間を設定する

1年生 国語科「おおきなかぶ」「くじらぐも」（文学的文章）

「くちばし」「うみのかくれんぼ」（説明的文章）

1年生の国語科における読みの学習では、まず自分の考えをノートに書き、その後ペアで交流する時間を設定した。

書き終わった児童はすぐ交流して対話の時間にすることができ、書き進まない児童に対しては、教師が支援を行うことができた。



3年生 国語科「ちいちゃんのかげおくり」（文学的文章）



3年生の国語科「ちいちゃんのかげおくり」では、初発の感想を色分けしたシートを基に、自分と同じ意見の友達・違う意見の友達に理由を聞きに行く対話の時間を設定した。

4年生 国語科「ひとつの花」（文学的文章）

4年生の国語科「ひとつの花」では、ノートに自分の意見を書かせ、書き終わった児童から立ち歩いて交流を始めることで書くことに差のある児童の実態を踏まえた対話の時間とした。



同質・異質・人数など、目的によって形態を変える

1年生 国語科「くじらぐも」(文学的文章)

1年生の国語科「くじらぐも」では、音読劇に向けての練習の際に、ペアで行った。

お互いに教科書を読みながら音読劇に向けて練習することで、自然と叙述を確認して動作化してみる姿が見られるようになった。



2年生 国語科「お手紙」(文学的文章)



2年生の国語科「お手紙」では、読み取ったことを基にノートに書いたことを交流する時間を設定した。

その際、自由に相手を探して交流させることで、児童が意欲的に意見交流に参加できるようにした。

5年生 国語科「たずねびと」(文学的文章)

5年生の国語科「たずねびと」では、ノートに書いた自分の考えを基に、自由に相手を探してクラスの友達と交流した。

自分の考えをもち、その後にペアで、数多く交流することで、自分の考えをさらに深めたり、再構築したりするための手立てとなった。



～今年度コロナ禍における学習形態の工夫～

教室における工夫



教室の窓と扉を常に開けるようにした。



机と机の感覚を一定以上開けるようにした。

フィジカルディスタンス



交流の際にはマスク着用を徹底し、なるべく対面での交流を避け、交流の時間が短くなるようにした。